

(十二丁ウ十三丁オ)

- ①人のいへの戸石となるとミレバ、じゆミやうながく、さいわい来るなり、
- ②門もんの戸とくぢふさがると見れば、おもひ事かな叶なわず大いにあしく、
- ③門もんの戸たちまちひらくと見れば、ねんくわんしやうじゆするしるしなり、
- ④ねこねづミをとると見れば、きんぐを得るよろこびあり、
- ⑤白ねづミきて引つゞき道をゆくと見れば、たにんわれにしたがふ、
- ⑥ねづミといぬとともに二はしると見れば、さいわいきたりておふいによし、
- ⑦五こくしげりさかんなると見れば、きんぐまふくるよろこびあり、
- ⑧五こくよくミのりたるをおさむるとミレバ、酒さけゑんにまねかるゝ事あるべし、
- ⑨人より米いこくをもらふと見れば、しだいに仕合よくしゆつせをするなり、
- ⑩火のけぶりくろきをミレバ、びやうきのおこる事あり、つゝしミよふしやうすべし、
- ⑪大火天をやけば、世よしづかにしてよし、
- ⑫白きさるを見れば、官人くわんは禄ろくにすゝミ、平人へいじんは福有ふくゆうになるべし、
- ⑬猿さる人の衣いふくをきるとミレバ、家おとろふしるしにて、おゝいにあしく、神かみ仏ぶついのりてよし、
- ⑭林りん中ちゆうニ座ざしあるひハねるとミレバ、びやう人ハぜんくわいし、万

に大吉なり、

⑮ 縄にてしぼりつながるゝとミレバ、とくつきておふいによし、

⑯ 諸しよふつぼさつをおがミ、またハほとけとともにものいふとミレバ、
福とくを得ておふいに吉事なり、

⑰ ほとけうごき給ふとミレバ、さいわいきたるなり、

⑱ 仏ほとけばかりものたまふと見レバ、女につきいゝごとありてわる
し、